

第23回大井町地域公共交通会議の開催結果

【協議事項】

・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について（資料1・資料2）

<書面協議期間> 令和7年1月16日（木）～1月27日（月）

<協議結果> 全員承認

<指摘事項>

資料1	修正前	修正後
<p>⑤ 目標・効果 達成状況</p>	<p>【目標】 一般利用者数 6,000 人、小中学性 利用者数 4,000 人 収支率 8.7%の確保</p> <p>【実績】 一般利用者数 6,534 人 達成率 108.9% 小中学生利用者数 5,983 人 達成率 149.6%</p> <p>・利用者数は、一般利用者と小中 学生共に目標を達成した。小中 学生は少子高齢化による影響か、昨 年よりも利用者数が減少してい る。</p> <p>・昨年町内在住の 75 歳以上の高 齢者の運賃を無料としたことに より、収支率が 4.5%となったが、 今年度は 7.3%と目標値にあと 1.4%(200 円利用者があと、1,213 人)となった。</p>	<p>【目標】 一般利用者数 6,000 人 小中学性利用者数 4,000 人 収支率 8.7%</p> <p>【実績】 一般利用者数 6,534 人 達成率 108.9% 小中学生利用者数 5,983 人 達成率 149.6%</p> <p><u>収支率 7.3%</u></p> <p>【評価】 ・利用者数は、一般利用者と小中 学生共に目標を達成した。小中 学生は少子高齢化による影響か、昨 年よりも利用者数が減少してい る。</p> <p>・昨年町内在住の 75 歳以上の高 齢者の運賃を無料としたことに より、収支率が 4.5%となったが、 今年度は 7.3%と目標値にあと 1.4%(200 円利用者があと、1,213 人)となった。</p>

<p>⑥ 事業の今後の改善点 (特記事項を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の分析を行うとともに、<u>意見交換会を開催し、利用者だけでなく地域全体のニーズを把握することで、</u>少子高齢化や免許返納増加に伴う交通弱者の利便性向上や利用者の増加に繋がる運行形態となるよう調整を図る。 ・ゆめバス限定の広告掲示企業を増やし、<u>乗車特典を提供していた</u>だけの企業を増やすことで、<u>利用促進を図る。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の分析を行うとともに、<u>今後、運転免許証返納等によりゆめバスの利用者の増加が予想されることから地域全体のニーズを把握する意見交換会等の場を設ける。その結果をもとに、</u><u>利用者の増加、利便性の向上に</u>繋がる運行形態となるよう調整を図る。 ・ゆめバス限定の広告掲示企業を増やし、<u>掲載の意向があった企業を中心に乗車特典の提供を打診し、ゆめバスに乗車する付加価値をつけることで、</u>利用促進を図る。
--------------------------------------	--	--

資料 2	修正前	修正後
<p>目標を達成するために 行う事業の 今年度実施 状況</p>	<p>「おおいゆめバス」の広報・SNS等による継続的な運行周知や利用実績の分析に加え、地域公共交通の利用促進として、公共交通マップを作成し、配架・配布を行った。バス車内にも町内企業のおおいゆめバス限定の広告を掲載し、バスに乗って広告掲載企業へお出かけするように周知した。</p> <p>令和6年10月9日～30日までおおいゆめバス利用者を対象としたアンケート調査を行い、利用状況の調査や利用者のニーズを確認した。</p> <p><u>ゆめバスのバス停の時刻表に</u><u>運転手募集の広告を掲載し、HP</u><u>のバナー広告だけでなく、募集に</u><u>ついて町民や町外の住民の目に</u></p>	<p>「おおいゆめバス」の広報・SNS等による継続的な運行周知や利用実績の分析に加え、地域公共交通の利用促進として、公共交通マップを作成し、配架・配布を行った。バス車内にも町内企業のおおいゆめバス限定の広告を掲載し、バスに乗って広告掲載企業へお出かけするように周知した。<u>さらに</u><u>広告掲載企業による利用者特典の提供を8月より開始した。</u></p> <p>令和6年10月9日～30日までおおいゆめバス利用者を対象としたアンケート調査を行い、利用状況の調査や利用者のニーズを確認した。</p> <p><u>公共交通を担う運転手不足の</u><u>改善のため、HPのバナー広告のほ</u></p>

触れる機会を増やした。

か、ゆめバスのバス停の時刻表
に運転手募集の広告を掲載し、町
内外問わず広く情報を発信した。

別紙1・2のとおり修正しています。

【報告事項】

- ・おおいゆめバス利用実績について（資料3）
- ・おおいゆめバス利用者アンケート調査結果報告（資料4）

<御意見・質問事項>

1) 今後免許の返納も増加すると考えられる。

その為、現状の運行を維持していく事が必要だと思います。

→国の補助金などを活用し、現在の運行を引き続き広報等で周知しながら、利用促進のための事業を進めてまいります。

2) 増便の要望も検討課題です。またシャトル便等の検討も必要かもしれません。

→現在の運行から増便できないか、運行ダイヤについて調整しています。

公共交通に合わせた生活スタイルをお出かけモデル等でアピールしてまいります。

シャトル便については、運行時間等の兼ね合いからゆめバスの運行とは、別に検討する必要があります。

3) 利用者アンケート調査結果では、地区別利用状況として相和地域の住民の利用が多く、当地域住民の貴重な交通手段であることが伺えます。また、満足度については、運行ルートにおいて満足している一方で、運行時間については更なる工夫が必要であることが分かりました。

→相和循環においては、1循環で84分かかっています。相和循環の運行形態を調整することで、長時間の運行による遅延の解消や乗車時間の短縮を図っていきます。

4) 頼りにしている方は貴重な足である。75歳以上は健常者でも無料（申し訳ないと思う方もいるはず）このような人を対象に車内に善意箱を設置したら？

たとえ100円の寄附でも→運賃収入

→法的な問題がないか確認し、今後の交通会議での議題とさせていただきます。

5) 商工振興会に車内広告で、是非とも協力いただきたいですね。

→来年度に向けて、商工振興会会長あてに依頼文を送付予定です。

6) 利用者様の希望に少しでも添えるようにしたいものです。

→今回のアンケート結果などを参考に、次回(第24回交通会議)でおおいゆめバスの運行形態(一部)の変更について協議したいと考えております。

7)今年度5月より循環ルート③便を大井地区から相和小に通学する児童が利用するようになりました。ただ、下車するバス停から徒歩で20分程かかり、登校してすぐ始業となり余裕のない状況です。ルート変更が、可能でしたらアンケートの中にあるように相和小前のバス停を設け下車できると助かります。また、現在の下車するバス停からの登校ルートにはイノシシが今年も出現したという情報もあります。児童の安全確保の点からのぜひご検討いただければと思います。

→停車場所については、現在運行委託をしている富士急モビリティ(株)と調整中です。

8)アンケートの内容が登下校に利用する生徒・児童の保護者の立場からは記入しにくい内容もあると思います。保護者や利用していない人が、回答できるようなアンケートの実施をお願いできたらと思います。

→登下校におけるおおいゆめバスの利用にあたっての保護者の意見については、教育総務課と今後の対応を確認していきたいと思います。利用していない人については、地域の方と交通について意見交換の場を設けたいと考えております。